

こども版

こどもが自分らしく笑顔で育つまち

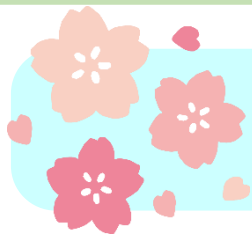
小城市こども計画

令和7年度～令和11年度

A colorful illustration featuring a large rainbow arching across the middle of the page. On the rainbow, a family of four (father, mother, young girl, and baby) stands in the center. To the left, a boy holds a soccer ball, a girl plays a flute, and a baby crawls. To the right, a girl holds two cats, a boy holds a flag, and a person pushes a stroller. The background is a light blue sky with two white clouds. At the bottom, there is a green landscape with trees, a school building, and houses.

こどもは、小城市のたから

令和7年3月
小城市



小城市こども計画

小城市のこどもや若者のみなさんが、自分らしく笑顔で、幸せにくらしていけるようにサポートするための計画です。



どうしてつくったの？

すべてのこどもが、幸せにくらせる社会をめざして「こども基本法」という法律ができました。

小城市でも、こどもや若者の幸せのために取り組みを進める計画をつくることになりました。

なにが書いてあるの？

小城市が、どんなまちをめざすのか、こどもや若者の幸せのための取り組みを進めるうえで大切に考える方や、必要なことが書いてあります。



だれが取り組むの？

ようち園・認定こども園・保育園や学校、地域の人、市役所など、小城市のみなんで、力を合わせて取り組みます。

もちろん、みなさんもそのひとりです。

だれのためにつくったの？

生まれる前から、学校を卒業した後まで、すべてのこどもや若者のみなさん、そのまわりの大人や子育てをしている人のために作りしました。

って・・・？

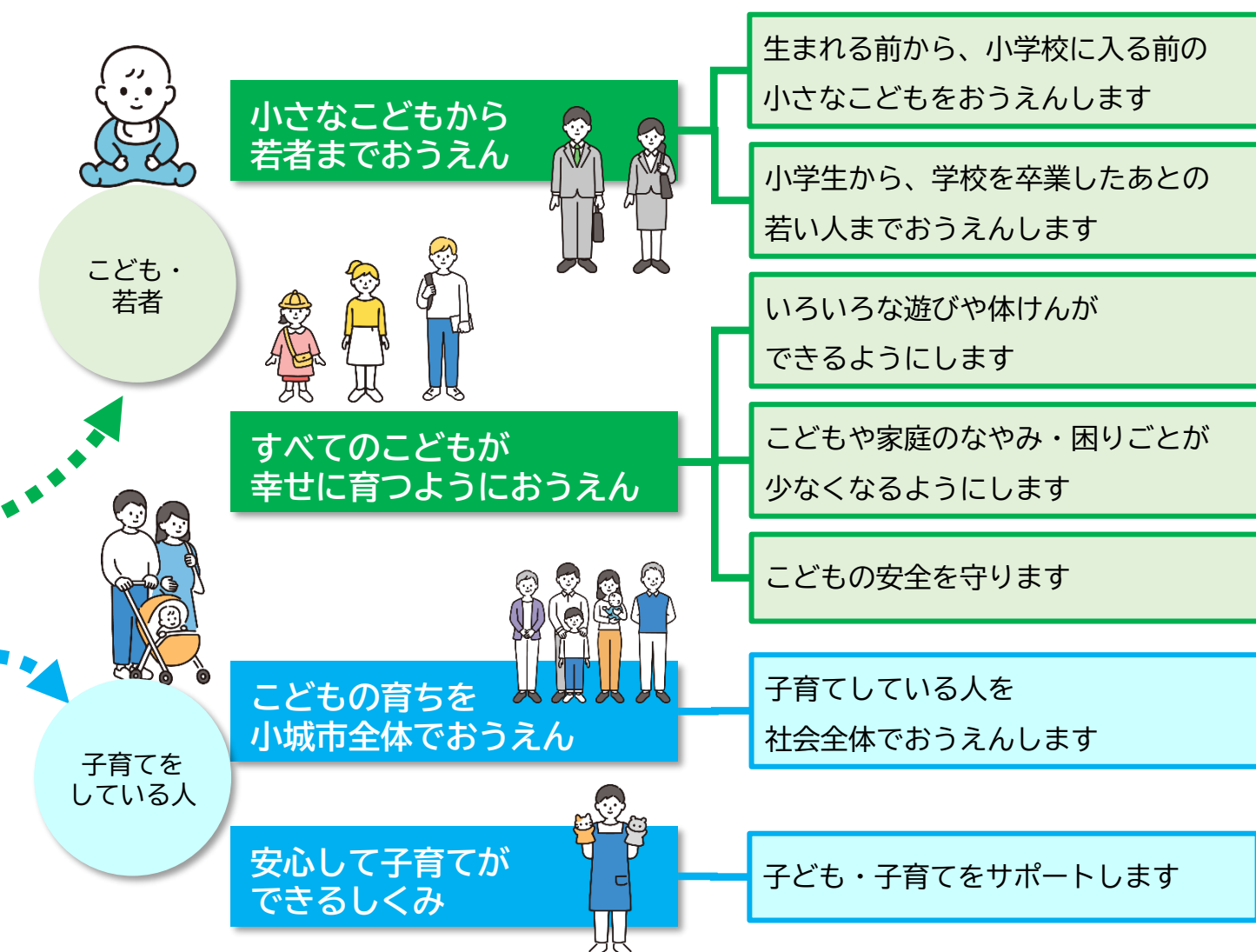
この計画でめざすまち

こどもが自分らしく笑顔で育つまち

キャッチコピー

こどもは、小城市のたから

この計画で取り組むことの全体図





めざすのは… すべてのこどもが

この計画をつくるとき、アンケートやワークショップなどで、こどもや若者の声・意見を聞きました。

こどもの声・意見

自分にとってほっとできる場所は、「自分の家・部屋」がダントツで多く、「学校」という人もいました。

(高校生ワークショップ)



どうすれば若者の住みやすいまちになると思うか聞いたら、「公園・遊具のじゅう実」「イベント・お祭りをやる」「勉強するスペースを増やす」などの意見がありました。

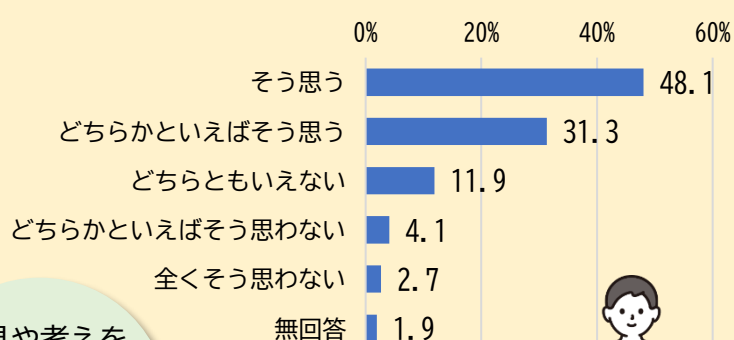
(高校生ワークショップ)



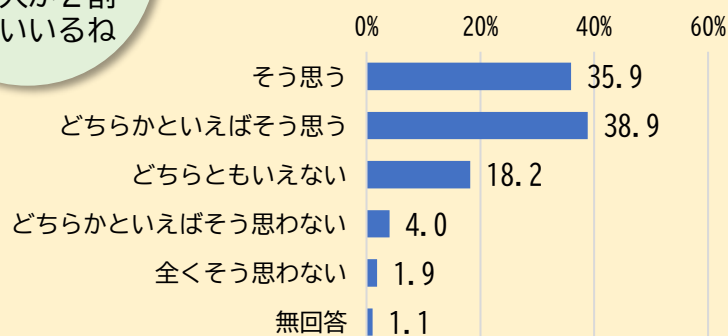
自分の意見や考えは、まわりの大人にきちんと聞いてもらえていると思う？

(小学5年生・中学2年生アンケート)

小学5年生



中学2年生



意見や考えを聞いてもらえていると思えない人が2割くらいいるね



家や学校のようにほっとできて、楽しくすごせる場所がたくさんあるといいよね。いろいろな体験もしてみたいし、そのためにも、こどもの意見や考えを大人がきちんと聞いてくれることは大切だね。

自分らしく育つまち



進めて
いくよ

みんなが、安心して楽しくすご
したり、いろいろな体験をでき
るようにしていきます。



児童センター

小城市には児童センター（ゆう
ゆう）があります。小さなこど
もとその保護者、小学生、中学
生や高校生にとっても安全で楽
しい居場所です。

市では、みんなに利用してもら
えるように、広く案内します。

つづく→



交流の場

2025年にオープンしたフッ
トボールセンターではスポーツ
で交流ができます。

また、ゆめぷらっと小城や公民
館では、勉強もすることができ
ます。



公園・こどもの遊び場

小城公園元気広場など、みんな
が健康的に、のびのびと遊べる
公園や遊び場があります。

市では草かりや遊具のチェック
などをして、みんなが安心安全
に楽しめるようにします。

放課後子ども教室

学校と地域が協力して、週末
などに安心安全な活動ができ
る場所を用意し、いろいろな
体験やいろいろな人との交流
などができるようにします。



めざすのは… すべてのこどもが

こどもや若者の声・意見を大切にしながら、こどもが自分らしく笑顔で育つまちをつくっていきます。

こどもの声・意見

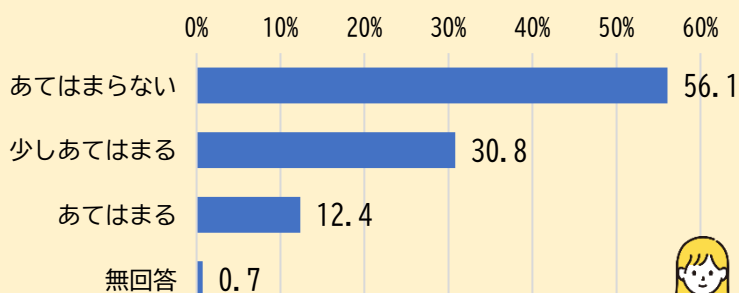
どんなまちが、こどもや子育てにやさしいと思うか聞いたら、「子育てに理解のある人がちゃんといる」「子育てのなやみを相談できるところがある」「親やこども同士の交流場所がある」「子育てにかかる医りょう費を負担してあげる」などの意見がありました。

(高校生ワークショップ)

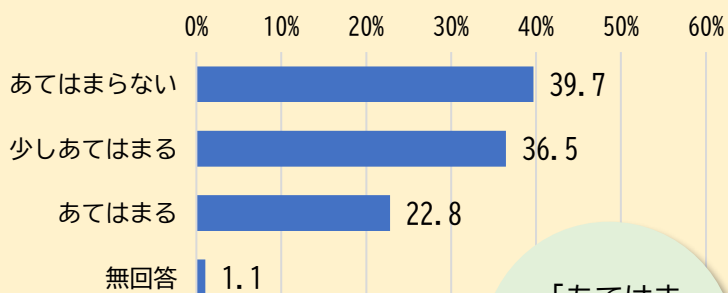
あなたは「心配ごとが多く、いつも不安だ」にあてはまると思う？

(小学5年生・中学2年生アンケート)

小学5年生



中学2年生



「あてはまる」という人は中学2年生の方が多だね



だれにだって、心配ごとや不安はあるよね。家庭も育ちかたもそれぞれだから、一人ひとりにとって「もっともよいこと」を、きちんと考えてもらえるといいよね。

生活の中で、こどもの安全が守られることも大切だね。



笑顔で育つまち



進めて
いくよ

一人ひとりのこどもにとって
「もっともよいこと」を考え、み
んなの笑顔と安全を守ります。



スクールカウンセラー

市内の学校にはスクールカウンセラーという、こどもの心配ごとや悩みごとの相談にのってくれるせんもんの先生がいます。

中学生になれば、小学生のときにはなかったような悩みが出てくることがあるかも。そんなとき、悩みを一人でかかえこまないで相談してください。

こども家庭センター

市役所の中にある「こども家庭センター」では、赤ちゃんが生まれる前のお母さん、こどものみなさん、こどもがいる家庭が安心して生活できるよう、相談をうけています。

こどもの医りよう費助成

高校生までのこどものみなさんが、早く病気を発見できて、治りようができるように、病院や薬局にかかる医りようひをほ助しています。

障がいや病気があっても



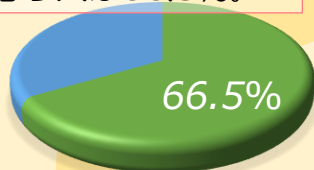
障がいや病気があってもなくても、みんなが幸せに育つことができるよう、保育園や小中学校でも一人ひとりに合わせてサポートします。



若者の声・意見

この計画では、中学校を卒業した後の若い人のことも考えて取り組みを進めるものなので、15さい以上の若い人にもアンケートに協力してもらいました。

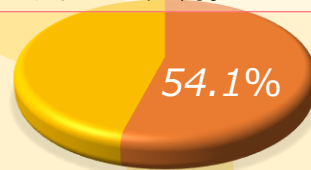
「今の自分が好きだ」
と思う人は66.5%。



若者のアンケート



「自分自身に満足している」
と思う人は54.1%。



小城市がこどもや子育てにやさしい社会
となるために必要だと思うものでは「こ
どもがのびのび遊べる公園・広場など」
が約70%で第1位。

これからも小城市に住み続
けたいかでは「しばらくは
住み続けたい」が約40%
で第1位、「ずっと住み続
けたい」が33%で第2位。

これからも みんなの声を大切にしながら めざすまちをつくっていきます！

目 標

「自分のことが好き」と
思うのは、自分らしく笑
顔でくらしていくための
大切な気持ちだから…



「自分のことが好き
だ」と思うこども・若
者をふやします！

こどもは小城市のたから
であり、その明るい未来
は小城市のみんなのたか
らだから…



「自分の将来に明るい希
望がある」と思うこど
も・若者をふやします！